

キリスト教文化研究所 2013 年度活動報告

運営委員会

2013年度は、4月11日、5月16日、6月13日、7月11日、10月10日、11月7日、12月5日、1月16日、3月3日の計9回開催。主に、土曜自由大学（秋のコース）について、『年報』について、本研究所担当科目「人間論」・「キリスト教と文化」についてなどの話し合いが行われた。また、6月14日、15日にかけて南山大学にて開催された日本カトリック大学キリスト教文化研究所連絡協議会に竹田教授と原田准教授が出席し、後日その報告がなされた。

土曜自由大学（秋のコース）

品川区との共催で、10月12日、26日の13:20～16:10、本学240教室において、各回2回の講演を開催した。今年度は「音楽」を総合テーマとして、各専門分野の講師陣よりそれぞれの視点からお話いただいた。講師及び演題は、講演順に次の通り。シャンソン訳詞家・歌手松峰綾音氏「『日本語で味わうシャンソンの魅力』～シャンソン訳詞の日に思う～」、本学近藤晃司非常勤講師「音楽の起動哀楽」、東京藝術大学音楽学部大森晋輔准教授「音楽は詩にとってどこまで「他者」なのか？—ポール・ヴェルレーヌとその詩に付された音楽を例に」、本学木村琢也教授「スペインのピアノ音楽と〈スペイン風〉ピアノ音楽」。出席者は延べ257名。

合宿研修

3月2日（日）～3日（月）、湘南国際村 IPC 生産性国際交流センターにて実施。2日から3日にかけて、本学長野太郎准教授による研究発表「キリスト教とダンス—ペアダンスに組み込まれた束縛と自由の両義性」、本学原田雅樹准教授による研究発表「ヒッグス粒子とは」が行われた。続いて、来年度の年間スケジュールについて話し合いが行われた。中でも、『年報』、土曜自由大学、「人間論」講演会について活発な意見交換がなされ、具体的な準備が進められた。参加者は8名。

執 筆 者 紹 介 (掲載順)

(2014年3月31日現在)

久保 文彦	清泉女子大学非常勤講師
土屋 至	清泉女子大学非常勤講師
阿部仲麻呂	上智大学神学部非常勤講師
高林 陽展	清泉女子大学専任講師
荒木 成子	清泉女子大学名誉教授
松本 隆	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター教授 清泉女子大学非常勤講師